

平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月2日

上場会社名 ケイティケイ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青山 英生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 木村 裕史

TEL 052-931-1881

四半期報告書提出予定日 平成26年4月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の連結業績(平成25年8月21日～平成26年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	8,557	109.0	△80	—	△70	—	△75	—
25年8月期第2四半期	4,095	—	△2	—	△1	—	24	—

(注)包括利益 26年8月期第2四半期 △50百万円 (—%) 25年8月期第2四半期 28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	△13.11	—
25年8月期第2四半期	5.59	—

決算期の変更(5月20日を8月20日)に伴い、平成24年8月期は15か月の変則決算となります。このため、25年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第2四半期	8,085	2,445	30.2
25年8月期	7,915	2,507	31.7

(参考)自己資本 26年8月期第2四半期 2,445百万円 25年8月期 2,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	3.00	—	2.00	5.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年8月21日～平成26年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,030	36.3	50	2,538.3	53	49.1	11	△92.3	1.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期2Q	5,875,000 株	25年8月期	5,875,000 株
② 期末自己株式数	26年8月期2Q	152,815 株	25年8月期	152,815 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年8月期2Q	5,722,185 株	25年8月期2Q	4,357,277 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年8月21日～平成26年2月20日)におけるわが国経済は、政府主導による経済政策や日本銀行の金融緩和策が下支えする中で、企業収益や個人消費が改善に向かうなど、景気は緩やかながらも回復しつつあります。しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の成長鈍化など世界経済の下振れ懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは今期第1四半期より敷いた新たな営業体制を軸に顧客接点の強化を図り、引き続きお客様の立場に立ったきめ細かな営業活動を展開しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前期第2四半期連結累計期間と比較して連結子会社2社の増加があり、8,557百万円(前年同四半期比109.0%増)となりました。営業損失は80百万円(前年同四半期連結累計期間は2百万円の営業損失)、経常損失は70百万円(前年同四半期連結累計期間は1百万円の経常損失)、四半期純損失は75百万円(前年同四半期連結累計期間は24百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(サプライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパクトナー)は、積極的な販売活動とともに景気回復による企業活動の活発化にも後押しされ、販売本数は前年同四半期を上回りました。しかしながら企業の経費削減の徹底及び競合他社との価格競争の影響を受け、平均販売単価が下落した結果、売上高は前年同四半期を下回りました。

OAサプライ商品は、純正トナーカートリッジ、純正インクなどのサプライ用品のほか、PPC用紙、ビジネスフォームなどの紙製品の売上高が順調に推移しました。

その他商品においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の推進による一般事務用品などの売上高が順調に推移、また前期第2四半期より連結対象となった株式会社青雲クラウンの売上高、今期より連結対象となったS BMソリューション株式会社の売上高が加わり、増加しました。

これらの結果、売上高は8,455百万円(前年同四半期比112.7%増)、セグメント損失(経常損失)は74百万円(前年同四半期連結累計期間は21百万円のセグメント損失)となりました。

なお、当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

(ソリューション事業)

「@Securemail」シリーズによる売上高が増加したものの、大型ホスティング案件の終了と旧サービスの契約変更により売上減の影響を受けました。また、技術部門の人員補強により売上原価が増加しました。

これらの結果、売上高は101百万円(前年同四半期比15.6%減)、セグメント利益(経常利益)は3百万円(前年同四半期比83.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ169百万円増加し、8,085百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、5,285百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が187百万円増加し、現金及び預金が99百万円減少したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、2,799百万円となりました。これは、主に投資その他の資産が241百万円増加し、有形固定資産が139百万円減少したこと等によります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ153百万円増加し、4,859百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が29百万円、短期借入金が125百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、780百万円となりました。これは、主に長期借入金が183百万円増加し、役員退職慰労引当金が105百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し、2,445百万円となりました。これは、主に利益剰余金が86百万円減少したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ113百万円減少し、1,370百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、332百万円(前第2四半期連結累計期間は144百万円の獲得)となりました。収入の主な要因は、減価償却費62百万円、仕入債務の増加額29百万円であり、支出の主な要因は、税金等調整前四半期純損失102百万円、役員退職慰労引当金の減少額105百万円、売上債権の増加額187百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、72百万円(前第2四半期連結累計期間は549百万円の獲得)となりました。収入の主な要因は、有形固定資産の売却による収入114百万円、保険積立金の解約による収入118百万円であり、支出の主な要因は、無形固定資産の取得による支出36百万円、貸付けによる支出200百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、290百万円(前第2四半期連結累計期間は62百万円の使用)となりました。収入の主な要因は、短期借入金の純増額125百万円、長期借入れによる収入500百万円であり、支出の主な要因は、長期借入金の返済による支出316百万円、配当金の支払い額11百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の業績予想につきましては、平成25年10月3日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,924,197	1,825,052
受取手形及び売掛金	2,535,410	2,723,327
有価証券	20,998	21,003
商品及び製品	536,933	550,804
仕掛品	2,972	447
原材料及び貯蔵品	65,872	57,827
その他	137,036	111,110
貸倒引当金	△4,542	△4,194
流動資産合計	5,218,879	5,285,379
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,174,804	1,104,279
その他(純額)	463,971	394,503
有形固定資産合計	1,638,776	1,498,782
無形固定資産		
その他	227,590	228,635
無形固定資産合計	227,590	228,635
投資その他の資産		
その他	839,737	1,081,522
貸倒引当金	△9,310	△9,233
投資その他の資産合計	830,426	1,072,289
固定資産合計	2,696,793	2,799,707
資産合計	7,915,672	8,085,087
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,875,907	2,905,473
短期借入金	1,384,582	1,510,041
未払法人税等	20,621	6,818
賞与引当金	30,939	36,771
その他	393,983	400,183
流動負債合計	4,706,033	4,859,288
固定負債		
長期借入金	404,928	588,093
役員退職慰労引当金	183,405	78,244
その他	114,081	113,757
固定負債合計	702,414	780,095
負債合計	5,408,447	5,639,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	708,475	708,475
利益剰余金	1,532,242	1,445,770
自己株式	△46,419	△46,419
株主資本合計	2,488,973	2,402,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,251	43,202
その他の包括利益累計額合計	18,251	43,202
純資産合計	2,507,225	2,445,703
負債純資産合計	7,915,672	8,085,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成25年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成26年2月20日)
売上高	4,095,312	8,557,538
売上原価	3,078,661	6,886,806
売上総利益	1,016,651	1,670,731
販売費及び一般管理費	1,019,267	1,750,870
営業損失(△)	△2,615	△80,139
営業外収益		
受取利息	87	1,609
受取配当金	522	5,905
仕入割引	—	18,982
受取家賃	3,499	15,540
その他	3,062	8,055
営業外収益合計	7,172	50,094
営業外費用		
支払利息	5,177	11,616
売上割引	—	22,994
その他	1,132	6,217
営業外費用合計	6,310	40,827
経常損失(△)	△1,753	△70,872
特別利益		
負ののれん発生益	26,297	—
保険解約益	—	12,198
特別利益合計	26,297	12,198
特別損失		
投資有価証券評価損	260	1,050
たな卸資産廃棄損	—	37,805
固定資産除却損	—	4,947
特別損失合計	260	43,802
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,283	△102,476
法人税、住民税及び事業税	6,987	4,495
法人税等調整額	△7,077	△31,945
法人税等合計	△90	△27,449
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	24,373	△75,027
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,373	△75,027

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 8 月21日 至 平成25年 2 月20日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 8 月21日 至 平成26年 2 月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	24,373	△75,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,460	24,950
その他の包括利益合計	4,460	24,950
四半期包括利益	28,834	△50,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,834	△50,076
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成25年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成26年2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,283	△102,476
減価償却費	43,196	62,829
貸倒引当金の増減額(△は減少)	398	△425
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,423	△105,160
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,985	5,831
受取利息及び受取配当金	△610	△7,515
支払利息	5,177	11,616
負ののれん発生益	△26,297	—
固定資産除却損	0	4,947
保険解約損益(△は益)	△660	△12,198
投資有価証券評価損益(△は益)	260	1,050
売上債権の増減額(△は増加)	△58,978	△187,838
たな卸資産の増減額(△は増加)	49,268	△3,300
仕入債務の増減額(△は減少)	101,657	29,566
その他	14,442	△10,038
小計	150,699	△313,112
利息及び配当金の受取額	610	7,515
利息の支払額	△5,179	△11,374
法人税等の支払額	△1,644	△15,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,485	△332,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△69,021	△276,774
定期預金の払戻による収入	66,010	262,010
有価証券の取得による支出	△7	△5
有形固定資産の取得による支出	△15,034	△6,069
有形固定資産の売却による収入	—	114,635
無形固定資産の取得による支出	△11,647	△36,609
投資有価証券の取得による支出	△1,338	△5,656
投資有価証券の売却による収入	6	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	563,380	—
貸付けによる支出	—	△200,000
差入保証金の差入による支出	△117	△48,072
差入保証金の回収による収入	420	18,145
保険積立金の積立による支出	△7,570	△10,882
保険積立金の解約による収入	26,862	118,230
長期前払費用の取得による支出	△2,282	△1,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	549,661	△72,555

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成25年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成26年2月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△18,000	125,459
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△2,886	△316,835
リース債務の返済による支出	△5,296	△6,155
自己株式の取得による支出	△25,086	—
配当金の支払額	△10,884	△11,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,153	290,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	631,993	△113,908
現金及び現金同等物の期首残高	734,128	1,484,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,366,121	1,370,777

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 8 月21日 至 平成25年 2 月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,974,780	120,532	4,095,312	—	4,095,312
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	211	211	△211	—
計	3,974,780	120,744	4,095,524	△211	4,095,312
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△21,746	19,992	△1,753	—	△1,753

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「サプライ事業」セグメントにおいて、当社が平成24年12月21日に株式会社青雲クラウンを完全子会社化したため、負ののれん発生益26百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント損失には含まれておりません。

II 当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 8 月21日 至 平成26年 2 月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,455,783	101,754	8,557,538	—	8,557,538
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	158	158	△158	—
計	8,455,783	101,913	8,557,696	△158	8,557,538
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△74,127	3,255	△70,872	—	△70,872

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。